

日吉心療所デイケアメンバーの皆さん

酷暑もさり、日々、急に寒くなっていていますね。健康管理には気を付けましょう。

また、心療所の移転も間近に控えています。心配されているメンバーの方もいるかもしれません。

移転をしても、日吉心療所のデイケアの基本方針は変わりません。

今一度、日吉心療所のデイケアの目標、あり方をお伝えしようと思います。

医療法人ディープレインテンションの理念である、クライアントのウェルビーイングを目指すため、リハビリテーション機能の役割を果たすのがデイケアです。

メンバー皆さんの、社会や地域で「このように生きていたい」、「暮らしていたい」という希望の達成をリハビリによってサポートする役割です。

そのために、現在も、「ウォームアップ」「ベーシック」「リワーク」と皆さんの課題や目的別にリハビリを行っています。移転後も基本は同様です。

移転先はご存じのように一つの建物（ビル）になるため、皆さんは一つのビルに集まり、階による違いはありますがリハビリを目的とした同士が集う場所となります。凝縮した形で同じ所属のメンバーや他階のメンバーを感じ、目標を持ちいきいきとリハビリを行えることとなります。

具体的には・・・

- 一階は診察の主な場となり、二階から四階がリハビリテーションの場（デイケア）となります。
- 二階は、「ウォームアップ」の場所となります。厨房施設がありここで料理プログラムを行います。また、「SIP プログラム」を行う部屋もここにあります。
- 三階が、「ベーシック」の場所となります。
- 四階が「リワーク」の場となります。

現在もある「リワーク」は主に休職中の方の復職を目指すリハビリの場ですが、今後4階では「アドバンス」という名称でのデイケアを構築する構想があります。休職中の方に限らず仕事をして社会で生き生きと暮らす事を目指す様々なクライアントの新たなリハビリを行っていく構想です。

メンバー全員が、ウォームアップデイケアからスタートし、ベーシックやアドバンスに至る必要はありません。デイケアスタッフを始めとした心療所スタッフと自分の希望、目標を相談しそれにあたりリハビリテーションを行えば、ウォームアップで達成できるメンバーもいますし、ベーシックで達成できるメンバーもいると思います。達成することで、普段住んでいる場所、デイケアの場だけでなく、地域や社会で活躍出来る場所ができると思います。

大切なことは、メンバーそれぞれが自分を活かして自己実現していき地域や社会でより幸せに生きていけるようになる事です。

日吉心療所のデイケアはこのようなあり方をこれからも目指しています。

気になることや心配な事があればスタッフや主治医にご相談ください。

日吉心療所院長 伊川 太郎